

郷土料理と特産品PR事業

取り組みに至る背景・事業の目的

高齢化率が50%を超える天龍村は、過疎地域ながら村に活力を取り戻そうと、「天龍村むらづくり計画」に基づき、地域の再生を図るべく地域が一丸となって取り組んでいる。とりわけ県外からの観光客を増やすことが重要と考え、JRの協力も得ながら、自然を有効活用した観光振興策のひとつとして「列車を利用した観光ツアー」を実施することとした。

事業内容

平成19年5月、運行便数の少ない飯田線の待ち時間等を逆手にとって、村の特産品（新茶、柚餅子、餅など）を堪能していただく「新緑列車」を実施したところ、約920人の観光客が来村。商工会、観光協会、農産物加工団体、村が一丸となり観光客をもてなすことができ、好評を得ることができた。

この成功を受けて9月に「初秋列車」、11月に「紅葉列車」のツアーを計画。JR平岡駅横に支援金で購入したテント、机、イスで特産品提供コーナーを設け、村の特産物「ていぎなす」料理や柚餅子、猪汁、手造り餅など計15種類の自慢の郷土料理の提供を行った。

事業効果

「とにかく、やってみよう」と始めた「新緑列車」に手応えを感じ、続けて「初秋列車」、「紅葉列車」を走らせることにより、中京圏や首都圏から多くのお客様をお迎えすることができた。お客様には、村民とのふれあいの中で、素朴で心温まる料理を堪能して頂くとともに、たくさんの特産品を購入していただくことができ、飯田線が走る天龍村のPRとともに経済効果も生まれた。

○列車ツアーで訪れた観光客

- ・初秋列車ツアー（9/15～9/24） 218名
- ・紅葉列車ツアー（10/29～12/1） 857名

○「おもてなし」した地域住民

- ・初秋、紅葉両列車ツアーで合わせて延べ174人

○特産品の売上げ 322,500円

○その他の効果 龍泉閣ヘリピーターの宿泊者が来訪10組

平成20年度は新緑1,500人、初秋500人、紅葉1,500人の集客を目指したい。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

「新緑列車」「初秋列車」「紅葉列車」と四季を通じて延べ約2,000名の方をお迎えし、地域住民との触れ合いや、郷土料理など天龍村の良さを理解してもらえた。今後は、ツアー客の満足度を高められるよう、郷土料理をより季節にマッチしたものにするなど実施内容を精査しつつ、恒例の事業として定着化を図り、地域住民のやりがいの創出と元気で活力のある地域を目指していきたい。

【選定のポイント】

公共交通機関の弱点を逆手に取る発想と、地域資源を最大限活用することにより、交流の拡大と地域経済の活性化が図られた。

団体名	天龍村商工会（天龍村）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 担当	清水 電話 0260-32-2066	事業費	1,366,445円
メールアドレス	tenryusk@ybb.ne.jp	支援金額	1,130,000円

